

臨床整形超音波学

笹原 潤, 宮武和馬(編)

東あおば整形外科院長

高橋 周

整形外科超音波のバイブル発刊!

整形外科超音波界の若き TWO TOP である笹原潤先生(帝京大スポーツ医科学センター)と宮武和馬先生(横浜市立大整形外科学)が編集した本書は、運動器超音波の基礎から始まり、運動器疾患の超音波診療、痛みに対する末梢神経からのアプローチ、超音波ガイド下理学療法まで網羅するまさに「整形外科超音波のバイブル」です!

これらのほとんどを、TWO TOP が牽引する若手医師グループ Sonography for MSK Activating Project (SMAP) が執筆しています。SMAP の医師は、研修医時代あるいは整形外科診療に従事し始めたころから超音波を診療に使い、超音波診療を研鑽している精鋭です。SMAP の医師が、日常診療での疑問点をグループ内だけでなく、グループ外のスペシャリストやレジェンドと議論し検証した内容を執筆しています。

笹原先生、宮武先生が自らの整形外科超音波診療を極めるだけでなく、SMAP という若き精鋭達と一緒に高みをめざしていることにとても感服しています。

整形外科の画像診断は「まず、レントゲン」の X-ray first の時代が長く続いてきました。レントゲン写真で異常がなければ、病態がわからないため、治療は安静、痛み止め、湿布程度になっ

てしまいます。整形外科の外来で頻繁に遭遇する足関節内反捻挫は、レントゲン写真で骨折がないと、「骨には異常がありません。捻挫ですね」という説明がなされていましたが、エコーを使って診断すると、前距腓靭帯や踵腓靭帯の損傷や裂離骨折を静的・動的に可視化して診断することができますだけでなく、靭帯の修復過程や不安定性の改善度を評価して運動や日常生活への復帰につなげることができます。時代は X-ray first から US first へと確実に変わってきています。

本書では、器質的異常を超音波で診断・治療するノウハウがしっかり解説されているだけでなく、運動器エコーをツールとして、医師と理学療法士が強力なタッグを組んで治療するエッセンスが詰まっています。整形外科診療に携わる医師、理学療法士などのメディカルスタッフにぜひ手に取っていただきたい良書です。



●B5/頁 392/2022 年
定価: 7,920 円
(本体 7,200 円 + 税 10%)
[ISBN978-4-260-04691-6]
医学書院 刊